

1年生学年だよ

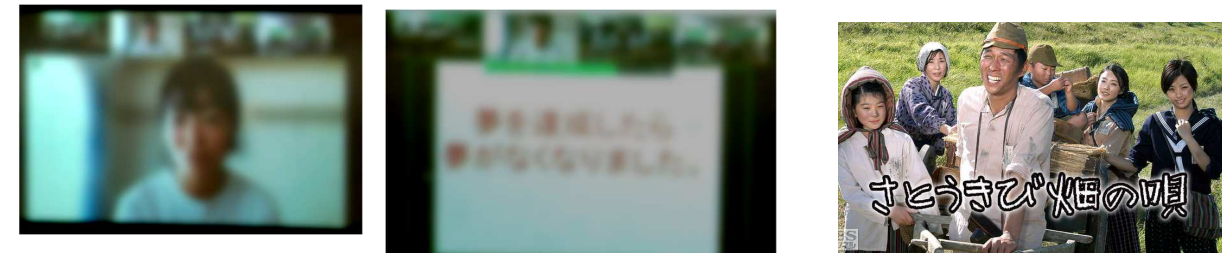
メリハリ つながり チャレンジ

令和5(2023)年9月7日 第31号
吹田市立第二中学校第一学年

人権文化祭の取り組み SDGs

79期生の人権文化祭。取り組みが続いていく中で、総合の時間を使って今回の文化祭のテーマやパフォーマンス部門が踊る「ツバメ」という曲についての学習を行いました。

学習の中で、気づいてほしかったことは1学期に学んだことがSDGsにしっかりとつながっている活動だったということ。つまりみんなはすでに17の目標についてしっかり考えてきていたということだね。そんな学びをしっかりと生かし、今回のそれぞれの部門での活動に「**ちがいを認め SDGsが 叶う世界へ**」というテーマの伝わる発表にしたいですね。



79期生の総合学習は思い返してみると、SDGsにつながるものばかりでした。たくさん学んできたね。

久しぶりにすべてのクラスで授業をさせてもらって、どのクラスもとても楽しい時間になりました。ありがとう。先生の話す言葉にしっかりと反応し、前向きにワークシートの記入などにも取り組んでくれました。授業を大切にしていこう、というのは今後もずっと大切なことです。教科の授業では総合の授業より「しんどいな」と思うこともあるかもしれませんが、今日のようないい雰囲気での授業の臨んでほしいと思います。

●僕らは色とりどりの命と この場所で共に生きている

「僕らは色とりどりの命と...」のところで「ジャンパーが人それぞれあるから」とを表現していた。

→ 一人一人いろいろな色(個性)があって、みんな同じ場所で共に生きていることを伝えているところ。

●楽しそうな人の声 悲しみに暮れる仲間の声

・楽しそうな人の声、悲しみに暮れる(中間)の声
→ 自分が幸せでも、どこかに必ず困っている人がいるから、自分だけ幸せにならない。

人間とツバメを対比している歌詞が人間の行動が動物を苦しめているのを色濃く表現していたから。

●傷付け合ってしまうのはなぜ 同じ空の下で

人それぞれで個性はあるけど、同じ空で暮らす物だから差別をなくしたい。そのためには僕らは何ができるだろう。

●僕らにいまできること それだけで全てが変わらなくたって 誰かの一日にほら 少しでも鮮やかな彩りを

→ 小さなことからでも誰かに幸せを届けることができると思ったから

●許すことで認めることで 僕らは繋がりが合える

辛いことがあっても、許すことで認めることでみんな繋がりが合えるの所で、いじめられたりしてもみんな協力すれば繋がりが合える。

●こんな風に世界中が ささやかな愛で溢れたなら

今自分には何が出来るのか、大きなことじゃなくても少しづつ変わっていくことが大切なんだなと思った。「ささやかな愛」というフレーズがとても好きだと思っただけ。個性